山雪
義淡
ぎたん

春水
豊國
かつくに

新撰

宋史十二編

松亭元右林堂

へ13
3756
17

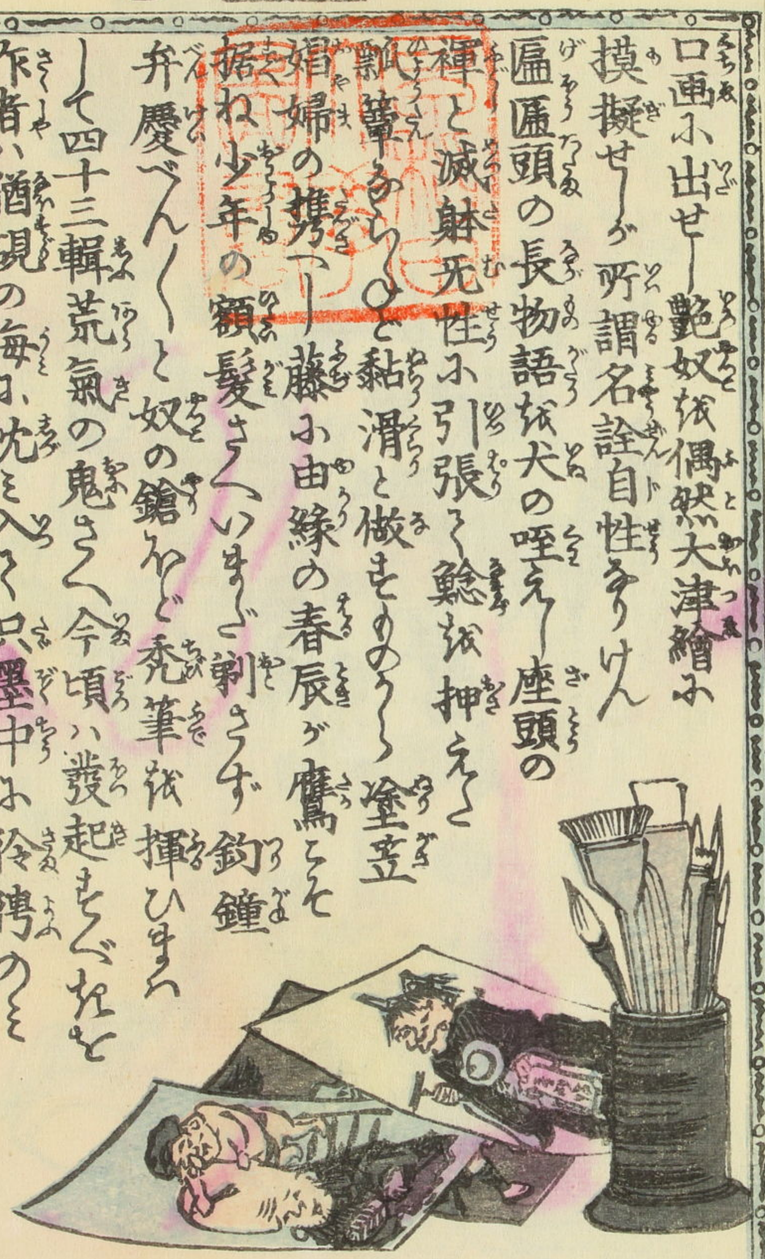
四十三編上

門へ13
號3756
巻17

北雲美淡四十三編上

口画ふ出せ一艶奴伝偶然大津繪ふ
摸擬せ一ゞ所謂名詮自性ありけん
匾匾頭の長物語伝犬の唖え一座頭の
禪と滅躰无性ふ引張ゞ鯰伝押えゞ
瓢簞ゆら一〜と黏滑と做きものゞ一〜塗竜
娼婦の携ゝ一藤ふ由縁の春辰ゞ鷹ゞて
据ゑ少年の額髪さゝいまゞ剃さずず釣鐘
弁慶べん一〜と奴の鎗ゆゞ禿筆伝揮ひまん
して四十三輯荒氣の鬼さゝ今頃ハ發起もゞ拉
作者ハ猶硯の海ふ沈ゞ入ゞ只墨中ふ彷徨のゞ

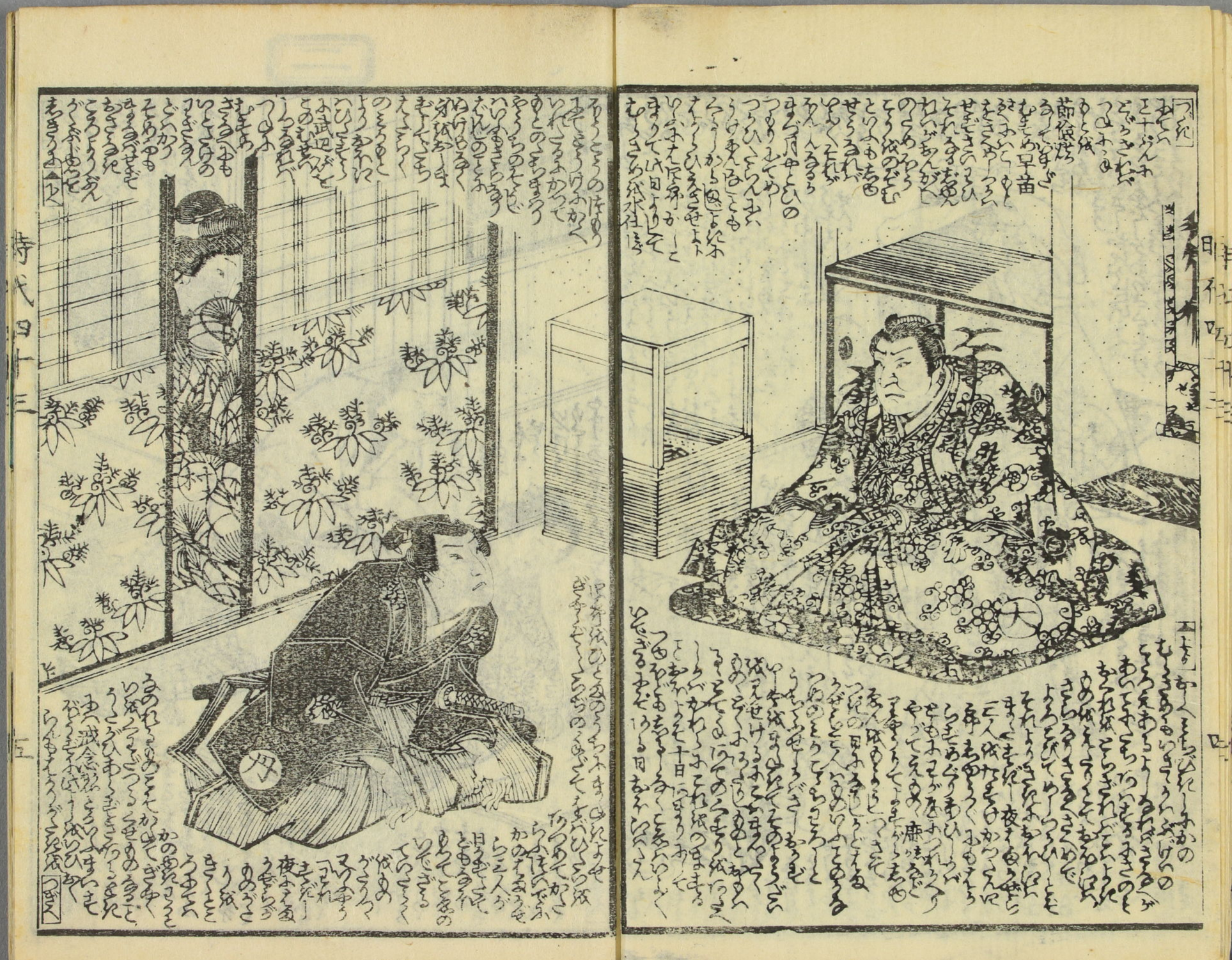
癸酉孟春　爲永春水記



時代四十三
監物太郎者の妻

時代四十三
小田大江の女兒早苗

大
え
早
十



村さま
この画の譯い後の本文ふ合せ見よ

時代四十三
時代四十三

風流画半切

越前奉書紙
伊豫奉書紙

○紅ノ乃内手切
○かんぜ一内手切

任斎百図 全

上愛所姿図

虎の一色

同絵色

忠臣義士銘々傳
猫齋芳虎画

当年新板 寿古新志ゑ

東西三条橋 御新造物買入たしたく人
子代紙屋

若林堂板

北雪美談
時代加々見
四十三編下

時分はいのみ

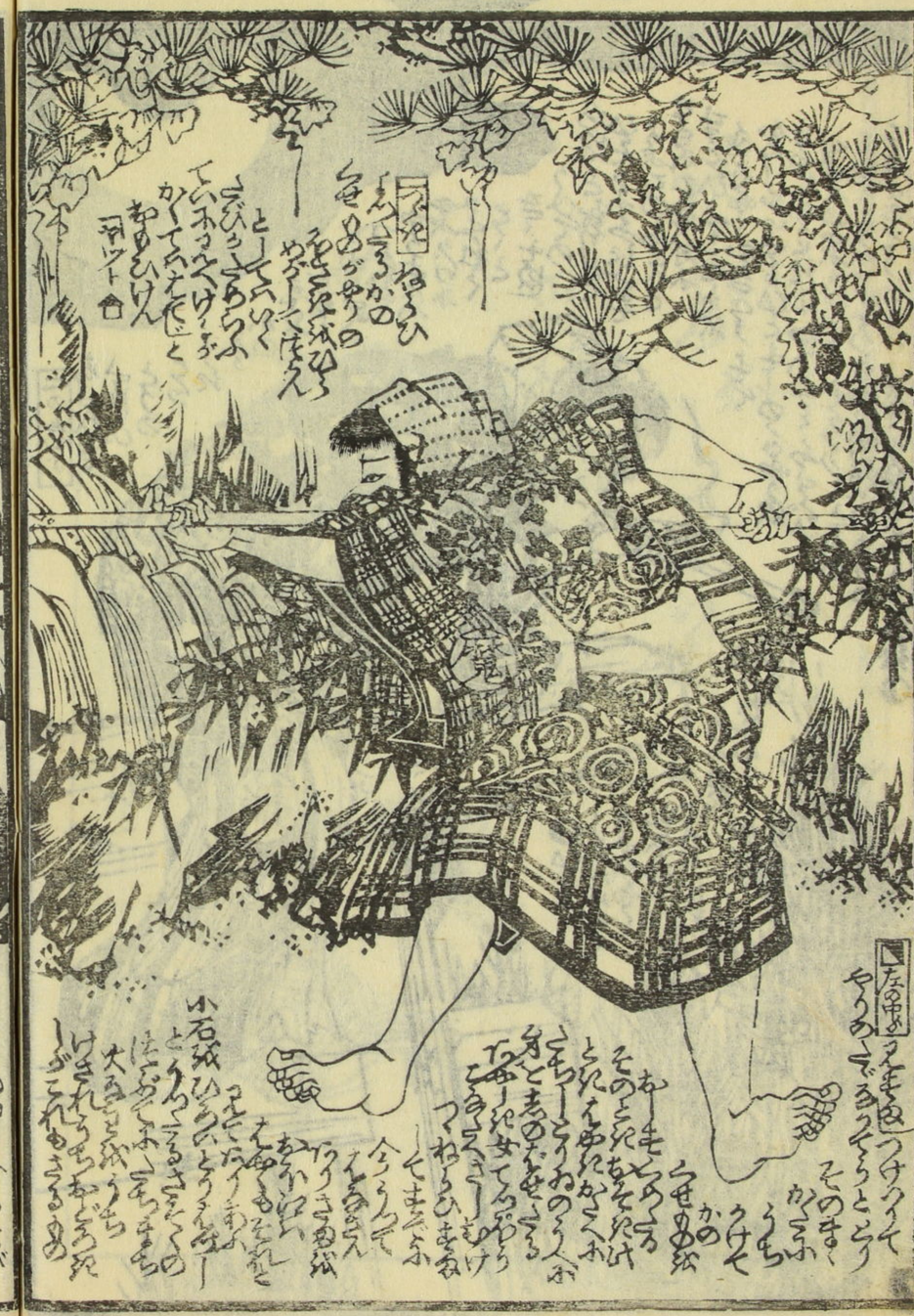
四指三篇の

下

為永

春玉画

芳狸家板

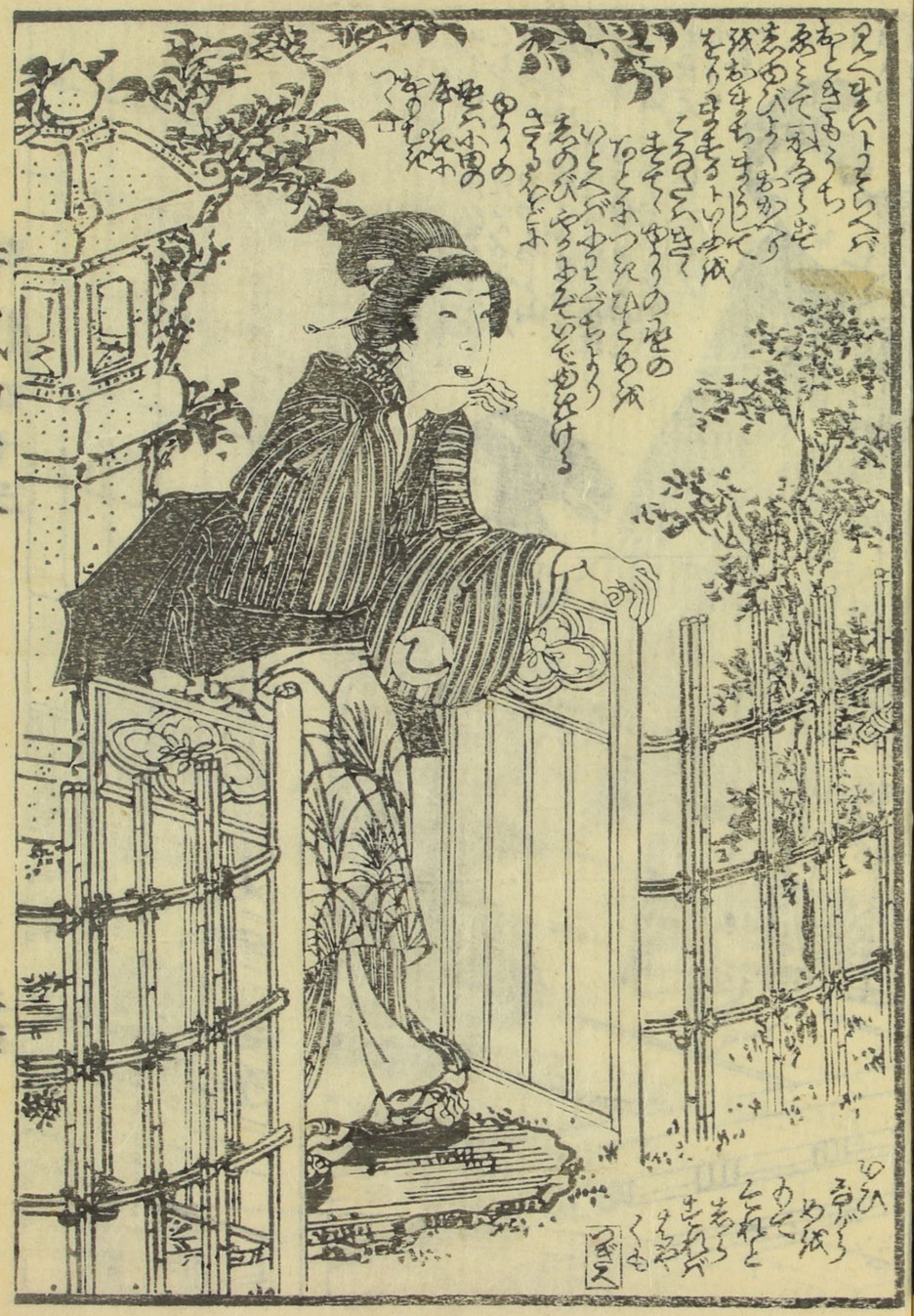


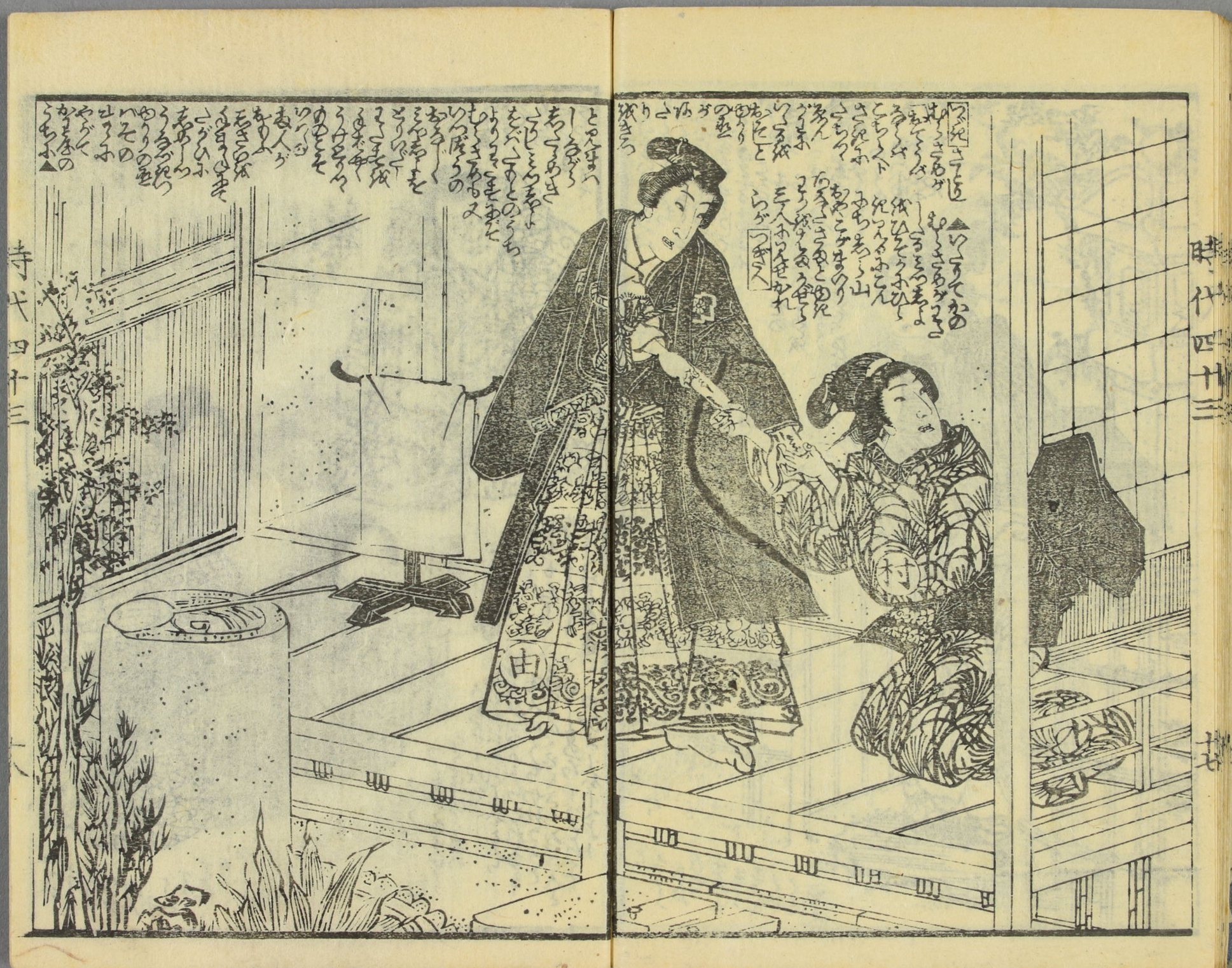
由
稲
大

柏
由
覺

由

稲





須

由

雪
由

明治四辛未年新刻目録

北雪美談 時代加賀實 四編 爲永春水作 四十五冊 追出板 歌川國貞画

雑談雨夜質庫 六編 七編 爲永春水作 一陽齋豊國画 出板 門人國文画

池園の語 初編 二編 山々亭有人作 歌川國貞画

庭訓武藏鑑 應賀作 六編揃 國貞画

地本草紙問屋 芝神明前 若林堂 若狭屋與市梓